

令和3年度 59回生 授業概要

科目名	精神看護学概論Ⅰ	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/精神看護学
開講年次・時期	1年後期 令和3年10月6日	単位数/時間	1単位/15時間
担当講師名	佐々木 真弘	所属・役職	宮古山口病院・ 副総看護師長兼看護師長
		資格・免許	看護師
授業の概要	狭義・広義における精神看護学および精神看護について学び、すべての人を対象に精神看護が必要とされていることを理解する。看護師の役割とチームで協働することの意義を理解する。 どのような歴史の基に、精神保健医療が変遷し今に至っているのか法律も含め学び、精神障がいを持つ人の人権が守られているのか考えられる。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・精神看護学の対象と考え方について理解できる。 ・精神医療の歴史、法制度について理解できる。 ・精神科病院における看護師の役割について倫理観、人権の視点を含めて理解できる。 ・精神障がい者の地域生活を支える保健・医療・福祉について理解できる。 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・終講試験 ・出欠席状況 		
使用テキスト	医学書院 「精神看護の基礎 精神看護学①」第6版 第1刷 医学書院 「精神看護の展開 精神看護学②」第6版 第1刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	教科書の該当箇所	授業形態
第1回 ～ 第7回	精神障がいについての基本的な考え方	①第1章 P2～22 第2章 P49	講義
	精神医療の歴史 ・諸外国、日本における精神医療の変遷 ・精神障害と文化・社会学	①第7章 P298～335	講義
	精神看護における法律、精神科領域で必要な法制度 精神保健医療福祉対策と動向	①第7章 P335～370	講義
	看護の倫理と人権擁護 ・精神科医療におけるアドボカシーの必要性 看護の倫理とアドボカシー、インフォームド・コンセント、倫理綱領、守秘義務と個人情報の保護、保護と自己決定尊重のバランス、身体 の自由に対する権利の侵害(隔離・身体拘束など)	①第7章 p 335～348 p 354～357 p 360	講義
	精神障がいをもつ人の地域における生活への支援 ・長期入院患者の地域移行への支援 ・生活を支えるための社会資源・サービス ・精神疾患に罹患した患者とその家族の関係 ・家族への教育的介入と支援 ・精神保健医療福祉における多職種連携	②第10章 p 116～177	講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が積極的に授業に参加する ・シラバスに示しているテキストの範囲を、各講義前までに読んでおくこと 		

令和3年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	精神看護学概論Ⅱ	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/精神看護学
開講年次・時期	1年後期 令和3年10月12日	単位数/時間	1単位/30時間 精神看護学概論Ⅱは山本先生（24時間） と山根（6時間）合わせて1単位
担当講師名	山根 智草	所属・職位	宮古高等看護学院・看護教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	心の健康とは何か、精神の考え方・機能・障害を理解し、それらがライフサイクル、生活の場、社会よりどのような影響を受け、対処していくかを学ぶ。また、予防においては生活の場の学習内容に含め発生させない予防（第一次予防）のみならず、社会復帰と再発させない予防（第三次予防）の重要性を学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心と身体が一体であること、身体疾患をもつ人の心の健康について理解する ・リエゾン精神看護師の役割について理解する ・看護師のメンタルヘルスについて理解し、自身のメンタルヘルスに関心を持つ 		
成績評価の方法	筆記試験による評価（山本先生：70点満点、山根：30点満点の合計100点満点） ※講師ごとに配点の6割に満たない場合は再試験		
使用テキスト	精神看護の展開 精神看護学② 第6版 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	身体疾患と精神看護		講義
第2回	リエゾン精神看護・リエゾンナースの活動		講義
第3回	コミュニティにおける精神看護、看護師のメンタルヘルス		講義
履修上の留意点	・疑問点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識の習得に努めること。		

令和3年度 59回生 授業概要

科目名	精神看護学概論Ⅱ	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/精神看護学
開講年次・時期	1年後期 令和3年10月15日	単位数/時間	1単位/30時間 精神看護学概論Ⅱは山本先生（24時間）と山根（6時間）合わせて1単位
担当講師名	山本 貴胤	所属・職位	公認心理師長
		資格・免許	公認心理師、臨床心理士
授業の概要	心の健康とは何か、精神の考え方・機能・障害を理解し、それらがライフサイクル、生活の場、社会よりどのような影響を受け、対処していくかを学ぶ。また、予防においては生活の場の学習内容に含め発生させない予防（第一次予防）のみならず、社会復帰と再発させない予防（第三次予防）の重要性を学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康を理解するための理論について理解できる。 ・こころの健康に影響を及ぼす様々な要因について理解できる。 		
成績評価の方法	筆記試験による評価（山本先生：70点満点、山根：30点満点の合計100点満点） ※講師ごとに配点の6割に満たない場合は再試験		
使用テキスト	武井麻子著：精神看護の基礎 精神看護学① 第6版 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	イントロダクション、精神の健康と障害		講義
第2回	精神障害という捉え方 / 心のはたらき①意識		講義
第3回	心のはたらき②認知機能		講義
第4回	心のはたらき③感情、学習		講義
第5回	心のはたらき④知能、心の理論		講義
第6回	心理検査		講義
第7回	こころのしくみ①精神力動理論		講義
第8回	こころのしくみ②自我防衛機制		講義
第9回	ライフサイクル理論		講義
第10回	ストレス理論		講義
第11回	心的外傷と回復		講義
第12回	関係の中の人間		講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回プリントを配布し、それを基に授業を進めていく。メモを取るなど積極的に授業に臨むこと。 ・普段から精神保健関係の事象に関心を持ち、わからないことや知りたいことがあれば遠慮なく質問すること 		